

JACET中国・四国支部 Newsletter

第 24 号

目次

1. 巻頭言	支部長 岩井 千秋	pp.1-2
2. 2019 年度秋季支部研究大会報告	大会実行委員長 折本 素	p.3
3. 2019 年度支部第 2 回役員会報告	事務局幹事 岩中 貴裕	p.4
4. 2019 年度支部研究会 第 11 回 OPP イベント報告	OPP 代表 三熊 祥文	pp.4-5
5. 2020 年度春季研究大会発表応募要領		pp.5-6
6. 2020 年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』投稿募集		p.6
7. 事務局だより		pp.6-7
編集後記		pp.7-8
【重要】 ニュースレター (NL) 配信についてお願い		pp.8-9

1. 巻頭言

中国・四国支部長 岩井 千秋

2020 年の春を迎えました。支部会員の皆様には年末・年始、いかがお過ごしになりましたか。今年はいわゆるオリンピック・イヤー、今夏はきっとこの話でもちっきりのことでしょう。

オリンピックと言えば、昨年の NHK 大

河ドラマは元祖東京オリンピックをテーマにした「いだてん」でした。この大河、どうも評判が今一だったようで、平均視聴率は過去最低、ひどい時には 5% を切ることもあったとか。私は 1 年を通じてその 5% 内に含まれた視聴者のひとりですが、確か

に過去の大河と比べると、話が分かり辛かった印象です。金栗四三の生涯を描くドラマかと思いきや、途中から主役が交代、古今亭志ん生がなぜ出てくるのか、これは最終回近くまで疑問のままでした。低視聴率の原因は、オリンピックにあやかろうとしたNHKの読みの甘さか、あるいは若者を中心に加速するテレビ離れによるものか。何はともあれ「取らぬ狸の皮算用」となったことは紛れもない事実です。

「とらぬ狸...」と言えば英語もそうでした。前回の支部 Newsletter (NL) で英語の民間試験活用に触れましたが、昨秋の11月1日に文部科学大臣による電撃的な見送り発表会見が行われました。「中止」とせずに、「大学入試英語成績提供システムの導入を見送る」と発表されたところが、何とも政治的、官僚的でした。その後、マスコミによる「犯人捜し」が始まりますが、産業競争力会議、教育再生実行会議、中教審高大接続会議など、やたらと漢字を多用した難しそうな会議で「有識者」たる人たちが数年の歳月をかけて議論したとは到底思えないほどあっけない幕切れでした。口頭と文章の両方で大臣がいろいろと説明されましたが、多くの学識経験者が繰り返し警鐘を鳴らしてきた内容ばかりで、「見送り」という事実以外、何も新しい情報はなかったように思います。この会見からひと月半後の12月17日に、今度は大学入試改革のもうひとつの柱であった記述式問題が見送りになったのは周知のとおりです。

さて、この一連の教育行政のドタバタ劇を皆さんはどうお感じになったのでしょうか。文科省の失態はさておき、私はこの国の行く末に少なからず危機感を覚えました。その理由ですが、専門家の意見よりも素人のそれが優先されること、平泉・渡部論争を引き合いに出すまでもなく教育が実用主義に著しく偏向していること（しかも目先のそれに）、50万の受験生を一網打尽に取り込もうとしていること、護送船団方式による教育で多様性がないがしろにされていること...、などなど挙げればきりがありません。これでどうやって和製 Gates や

Zuckerberg を誕生させようというのでしょうか。方向性を誤っていないでしょうか。いいじゃないですか、多少英語ができなくても、朝から晩まで数字と格闘する生徒や恐竜ばかり追っている学生がいたって、と私は思うのですが。しかも、時代はすでにAIで美空ひばりを復活させるような時代（NHKスペシャルを見逃された方はYouTubeで閲覧できます）。英語教育だってこの先どうなるか分かったものではありません。その実、昨年12月のJACET理事会出席者から聞いた話ですが、東京の某有名大学ではほぼすべての英語クラスが外部発注され、専任教員ポストは次々と削減されているそうです。極端な実用主義が英語教育の本質を犠牲にした典型的な例だと私は感じた次第です。

どうしてこのような話を出したかと言いますと、2021年のJACET年次国際大会のことが念頭にあったからです。この大会は私たちの支部が担当で、安田女子大学が開催候補地に挙がっていることは前号のNLでお伝えしました。その後、理事会で承認され、会場校は正式決定されました。続けて、大会テーマが検討されていますが、AIに代表される、いわゆる Society 5.0 に向けて英語教育はどうあるべきかを考えるテーマを支部から候補として理事会に出しました。次号のNLでは最終案をご報告できるのではないかと思います。

さて、今年度の支部活動（詳細は本NLの5頁以降）ですが、春季研究大会を6月6日（土）に香川大学で、秋季研究大会を10月17日（土）に山口学芸大学で予定しています。会場校の先生方には、準備等で大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。それから支部研究紀要についても例年通りの刊行を予定しています。7月末にはこれについての詳細をお伝えできるだろうと思います。

それでは皆様、これから学期末テスト、入試、卒業式、そして新年度と、何かと落ち着かない日々が続きますが、お元気で。また支部大会等でお目にかかれることを楽しみにしています。（広島市立大学）

2. 2019 年度秋季研究大会報告

大会実行委員長 折本 素

2019 年度 JACET 中国・四国支部研究大会を、2019 年 11 月 19 日、愛媛大学城北キャンパス共通講義棟 A の 2 教室を利用して、開催させていただきました。

前日よりの雨模様の天気にも関わらず、主に中四国各地より、合計 30 名の皆様が研究大会に参加して下さいました。

発表は、以下の 7 件でした。

＜第一発表会場＞

- ①「大学英語スピーキングクラスにおけるコミュニケーション能力育成のためのペア／個人リハーサルおよびピア／個人レビューの実践」長崎睦子先生（愛媛大学）、折本素先生（愛媛大学）
- ②「Further Breaking Barriers for L2 Learners of English」Douglas Robert Parkin 先生（山口学芸大学）
- ③「大学生の会話文記憶における絵の影響－英語学習の動機づけに向けて－」ウィリアムズ恵子先生（香川大学）
- ④「英語で教える英語の授業に対する態度に影響を与える要因」岩中貴裕先生（山口学芸大学）

＜第 2 発表会場＞

- ①「処理可能性理論の示す発達段階は日本人 EFL 学習者のスピーキングとライティングの両方から支持されるのか」道本祐子先生（宇部工業高等専門学校）
- ②「小学校教員・中学校教員が考える ALT とのティーム・ティーチングの課題－今治市での調査に基づいて－」池野修先生（愛媛大学）
- ③「高専 1 年生に対する体育 CLIL の可能性（3）－英語を使用したバスケットボールの授業を事例として－」二五義博先生（海上保安大学校）、伊藤耕作先生（宇部工業高等専門学校）

初等・中等教育と高等教育の連携により、英語 4 技能を伸ばす授業を促進することが求められている時代にふさわしく、スピーキングやライティングの授業の在り方に焦点を当てた発表や小学校・中学校教員の ALT とのティーム・ティーチングの課題を取り上げた発表が行われました。同時に、第 2 言語としての英語学習にとって普遍的な課題である、言語学習促進のための動機付けの研究発表も行われました。CLIL に関する発表が定期的に行われているのも本研究大会の特徴だと言えるでしょう。

研究発表に続き、山口大学国際総合科学部教授の藤原まみ先生による特別講演が行われました。タイトルは「山口大学総合科学部における英語教育の現状と展望」で、平成 27 年 4 月に開設された国際総合科学部の英語カリキュラムの構築過程とその特徴ならびに課題をご紹介下さいました。「文理の枠を越えた幅広い知識を持ち、日本語・英語をツールとした対価コミュニケーション能力とデザイン科学による課題解決能力をもつグローバル・スペシャリストを養成する」という理念を実践するためのカリキュラムの構築とたゆまぬ改善の足跡を、本音で、具体的にご紹介下さり、聴衆からの深い感銘と共感を受けていらっしゃいました。

懇親会にも 22 名の方が参加して下さい、それぞれの所属機関で抱える問題や、それぞれの研究分野の関心事に関して、アットホームな雰囲気で見聞交換がなされ、国際大会とは違った支部研究大会の良さが再確認、再評価されました。

最後になりますが、参加者の皆様、役員の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

（愛媛大学）

3. 2019年度JACET中国・四国支部

第2回役員会報告

事務局幹事 岩中 貴裕

2019年10月19日(土)に開催された第2回支部役員会にて、2020年度の事業計画(案)、予算(案)および人事(案)について話し合いが行われました。暫定的ではありますが、お知らせいたします。

1) 春季研究大会

日程：2020年6月6日(土)

場所：香川大学

(香川県高松市幸町1番1号)

2) 秋季研究大会

日程：2020年10月17日(土)

場所：山口学芸大学

(山口市小郡みらい町一丁目7番1号)

3) Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会

日程：12月13日(日)

場所：未定

4) 支部紀要・支部ニューズレター

・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』(第18号)

発行：2021年3月31日(予定)

・支部ニューズレター

発行：2020年7月30日(第25号)、

2021年1月10日(第26号)(予定)

4. 2019年度支部研究会 OPP イベント報告

OPP代表 三熊 祥文

OPP2019が昨年末の12月15日(日)に安田女子大学まほろばホールにて開催されました。今年度も、英語を学習したい気持ちを持ちながらも背中を押してくれる「何か」を必要としていたであろう学生たちのための「祭り」が実現したわけです。今回はOPP研究会メンバーの開催前におけるメールによる連絡のやり取りの中でいかに学生を集め、鼓舞し、パフォーマンスを作品化することが困難な取り組みであるか、嘆きにも似たやりとりがなされたことが印象的でした。かく言う私も出演者たるESS内の人間模様をやきもきと見守りながらの英語指導、パフォーマンス指導であり、綱渡りをしているような気持ちでした。

それでもなんとか実施にこぎつけたOPP2019は、素晴らしいイベントとなりました。何と言っても会場校となった安田女子大学が数年のブランクを経て復帰してくれたことが嬉しいニュースでした。その安田女子大学からの出し物は英語劇『シンデレラ』とオリジナルスピーチで、ともに素晴らしい出来でした。小学校教諭、幼稚園教諭、養護教諭、保育士など、子どもの成長を支援する職業を目指す学生さんの取り組みと聞き及びましたが、OPPとはまさにこのような英語を専門としない学習者の背中を押してくれる「祭り」なのだと再認識した次第です。また、トリを飾ってくれた広島国際大学のパフォーマンスには指導者も参加

したダンスがあり、そのノリに賞賛が集まったことも付記しておきます。祭りを祭り足らしめる「非日常性」も、このような思い切りが寄与している部分が大いなのでしょう。

本イベントの特徴になりつつある進行次第に、Closing があります。開催校代表の Closing Remarks に続いてみんなで英語の歌を歌うという締めが定着しつつあります。このような余韻のあるイベントの終わり方も、「祭り」の空間をそれらしく仕立てているように思います。

以下にプログラム(発表順)をご紹介します(記載内容は、指導教員名(敬称略)、大学名、発表タイトル、カッコ内に参加学生数)。

- ・ 岩井千秋 広島市立大学 “Peace Songs in the World – Part II” (9)
- ・ 平本哲嗣 広島市立大学 “Drama: Cinderella; Speech: To Find the Good

in Everyone” (16)

- ・ 吉本和弘 県立広島大学 “Drama in English: A Midsummer Night’s Dream Act II Scene II” (3)
- ・ 三熊祥文 広島工業大学 “HIT-Chants 2019 ~ Chanting Introduction of Our Majors ~ Original Speech” (10)
- ・ 二五義博 海上保安大学校 “POSEIDON: Ocean Guardian” (16)
- ・ パーキン ダグラス・岩中貴裕 山口学芸大学 “The Sound of Music 山口学芸大学バージョン” (18)
- ・ 山中英理子 広島国際大学 “A Story of Three Taros ~After the Old Tales~” (5)

以上、ご報告いたします。来年も皆様からのご関心、ご支援を賜りますよう、祈念しております。

(広島工業大学)

5. 2020 年度春季研究大会発表募集要領

2020 年 6 月 6 日 (土) に 2020 年度春季研究大会が開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。

支部春季研究大会

日時：2019 年 6 月 6 日 (土)

場所：香川大学

(香川県高松市幸町 1 番 1 号)

A) 応募情報 (英語での併記もお願い致します)

a. 発表題目 (Title) : 日本語と英語

b. 種別 (Style) : 自由研究発表, 実践報告, 事例研究など

c. 氏名 (Name) :

d. 研究領域 (Research Area) :

e. 概要 (Abstract) : 目的, 背景, 仮説, 方法, 結論, 引用文献など日本語の場合は 600 字以内, 英語の場合は 250 words 以内とする。

f. 所属 (Affiliation) :

g. 使用機器 (Equipment needed) :

h. 連絡先 (Contact Address) : メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2020 年 5 月 20 日 (月)

午後 11 時 59 分まで

■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用くだ

さい（発表、および懇親会への参加申込ができます）。

<https://ws.formzu.net/dist/S78585634/>

C) プログラムおよび発表スケジュール詳細は支部会員 ML, および支部 HP でお知らせします。(支部会員 ML へのア

ドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

■ 問い合わせ先

事務局幹事 岩中 貴裕
iwanaka@y-gakugei.ac.jp

6. 2020年度『JACET中国・四国支部研究紀要』投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究成果を発表する場として、年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として下記

のとおりです。

- 投稿原稿締め切り：10月末
- 審査結果通知：12月末
- 修正原稿締め切り：1月末
- 刊行：3月末

なお、投稿資格は、所定の学会費を完納した支部会員に限ります。複数名による投稿の場合には、必ず本支部会員1名を含むこととし、その他の投稿者も論文投稿時にはJACET会員でなければなりません。

投稿先：支部HP フォームズから

お問い合わせ：紀要編集委員会委員長
岩井千秋（広島市立大学）

E-mail: iwai@hiroshima-cu.ac.jp

7. ～事務局だより～

2019年8月から2019年12月までの新入会員をご紹介します。

★新入会員紹介★

田口純 (岡山理科大学)
伊藤耕作 (宇部工業高等専門学校)
CURTIS, Toby (岡山理科大学)
(敬称略)

皆様、どうぞよろしくお願いたします。

2020年度の支部人事(案)および本部運営委員(案)をお知らせいたします。

★2020年度支部人事(案)★ (2021年6月定時社員総会まで)

【支部役員】

支部長 岩井千秋 (広島市立大学)
副支部長 高橋俊章 (山口大学)

支部幹事 (*は事務局幹事)

*岩中貴裕 (山口学芸大学)
山中英理子 (広島国際大学)

支部会計担当者
関谷弘毅 (広島女学院大学)

支部研究企画委員 (28名)

五百蔵高浩 (高知県立大学)
池野修 (愛媛大学)
岩中貴裕 (山口学芸大学)
ウィリー・イアン (香川大学)
上西幸治 (広島大学)
榎田一路 (広島大学)
折本素 (愛媛大学)
小崎順子 (川崎医療福祉大学)
小山尚史 (岡山大学)
関谷弘毅 (広島女学院大学)
高垣俊之 (尾道市立大学)

高橋俊章 (山口大学)
瀧由紀子 (松山大学)
田辺尚子 (福山平成大学)
田淵博文 (就実大学)
ローレンス・ダンテ (就実大学)
寺嶋建史 (松山大学)
長崎睦子 (愛媛大学)
中住幸治 (香川大学)
中山晃 (愛媛大学)
二五義博 (海上保安大学校)
平本哲嗣 (安田女子大学)
堀部秀雄 (広島工業大学)
松岡博信 (安田女子大学)
三熊祥文 (広島工業大学)
三宅美鈴 (広島国際大学)
山川健一 (安田女子大学)
山中英理子 (広島国際大学)

【本部委員】

理事 岩井千秋 (広島市立大学)
総務委員会 (支部事務局幹事)
岩中貴裕 (山口学芸大学)
財務委員会 (支部会計担当者)
関谷弘毅 (広島女学院大学)
国際大会組織委員会本部
山川健一 (安田女子大学)
『JACET 通信』委員会
松岡博信 (安田女子大学)
学術出版委員会紀要担当
平本哲嗣 (安田女子大学)
セミナー事業委員会 サマーセミナー担当
田淵博文 (就実大学)
研究促進委員会
長崎睦子 (愛媛大学)
学術交流委員会
堀部秀雄 (広島工業大学)
大学英語教育学会賞運営委員会
池野修 (愛媛大学)

★支部紀要・ニューズレター発行予定★

- 『支部紀要』第18号
2021年3月31日刊行(予定)
- 『大学英語教育学会中国・四国支部ニ

【編集後記】

時が経つのは早いものです。私事ですが高等教育機関で英語を教え始めて29年目が終わろうとしています。この4月からはいよいよ30年目に突入します。この29年間で大学教育を取り巻く環境は大きく変化しました。多くの大学が教育と研究に集中できる環境と若い人材を育てる余力を失いつつあります。私自身、気がつくとも複数の会議とそれに伴う様々な書類の作成で1日が終わっていることがあります。しかし、教育と研究が我々の仕事の中心であることはこれからも変わることはありません。学会活動を通して、教育者・研究者として互いに研鑽を続けましょう。

【重要】JACET(大学英語教育学会)

中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長 岩井 千秋 (広島市立大学)

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

1. 支部 HP
(<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。
2. 入力フォームのサイトのページ
(<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。

『ニューズレター』

- 2020年7月30日(第25号)発行(予定)
- 2021年1月10日(第26号)発行(予定)

2020年が皆様にとって素晴らしい1年になりますことを祈念します。(T.I.)



3. ウェブの入力フォームに下記の情報を入力する。

・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？

- すでに登録している
- 希望する
- 希望しない

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

・登録を希望するメールアドレス
※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の岩中 (iwanaka@y-gakugei.ac.jp) までお問い合わせください。

メールアドレスを変更された方は、事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第 24 号

2020 年 1 月 20 日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部(支部代表 岩井 千秋)

編集 : JACET 中国・四国支部 岩中 貴裕

発行所 : 〒754-0032 山口市小郡みらい町一丁目 7 番 1 号 山口学芸大学 教育学部教育学科
岩中 貴裕

連絡先 : Tel:083-972-3288 FAX:083-972-4145 E-mail: iwanaka@y-gakugei.ac.jp